

七小校長室便り

国立市立国立第七小学校
校長室便り No.5 令和元年12月3日



学芸会へのご来場、ありがとうございました！

秋の一日、子供たちの熱演をお楽しみいただけたことと思います。
アンケートのご協力もありがとうございました。内容をご紹介します。
なお内容はそのままに表現は簡潔にさせていただきました。(○印は良かったところなど △印は改善点など)

(回収 45 通)

- 子供たちが一生懸命がんばっていてよかった。演技が上手。ご指導ありがとうございました。(同様 39 通)
- 行事を先生方も一緒になって楽しんでいるのが良い。
- 一斉登下校になったことで、他学年の発表も落ち着いて見ることができた。下校時刻が一緒になり、時間の都合がつきやすくなった。
- 集合写真撮影の日程を保護者鑑賞日と分けたことで、全学年の発表時間を圧縮して見ることができた。
- マット席、椅子席、ビデオ席が分かれており、祖父母が椅子に座って鑑賞できてよかった。副校長先生のアナウンスもあり、マット席で、近くでゆったりと見ることができてよかった。(同様 7 通)
- 会場への誘導、動線が適切でスムーズな運営だと感じた。
- スケジュール通り進行していたので、途中から鑑賞する保護者にとってよかった。
- 6年生の円陣に胸が熱くなった。

△ネームプレートを付けていない保護者がずっと優先席の最前列に居座っていた。来校者管理が少々甘いと感じる。

△前の方にいる子と重なってしまい、せりふを言うときに全く顔が見えなかったのが残念。背の大きい子はなるべく後列にしてほしい。

△高学年は一人一人のせりふが長いと、聞こえない場合内容がよく分からなくなるので、そこが残念。(同様 2 通)

△「幕を開ける歌」を家で練習していてかわいい歌だったので、保護者鑑賞日でも聞きたかった。

△小さな子が見づらいので、小さな子連れの方用の地べた席があると良い。

△5年生のように役名紹介があるとよかった。

△6年生の円陣は、見る側に威圧感を感じさせるので裏でやったほうがよいと感じた。

△劇の途中に入退場する保護者が多く、常にざわついていた。トラブル回避のためにも受付担当者が出入口にいた方が良い。

△演目前のナレーションは、子供がやった方が、自分たちで作っている学芸会という感じがしてよい。

まず、ご意見をお寄せいただいた方のほとんどが、子供たちの頑張り、教員の指導にエールを送ってくださっていることを、とてもありがたく嬉しく感じました。子供たちはもちろんですが実は私たち教員も、褒めていただくと、さらにやる気も出ますし(今回、運営面のくふうあれこれをご理解いただけたのは本当に嬉しかったです!)、よりよいものにしていこうと気合も入ります。その意味では、例え、「楽しかった」ひとことでも、より多くの方からアンケートのご提出をいただけると嬉しいです(もちろん、改善点のご提案も大歓迎です)。今回の回収率が16%というのは、少し寂しい気がいたしました。

さて、ご指摘いただいたことの改善には、学校のみで対応するのは難しく、保護者の皆様のご協力をぜひいただきたいものもあります。今後も、ぜひ皆様のアイデアやお力をお貸しください。

次の学芸会は2年後です。次回も、たくさんの子供たちの、それぞれがもっている力を次々に開花させる場面に立ち会えることを、教員一同も励みに指導にあたります。保護者の皆様もどうぞ、お楽しみに。

保護者会、どうぞよろしくお願いたします

12月4日から、各学年の保護者会を実施いたします。子供たちの成長ぶり、学級として伸ばしていきたい力など、担任からお話させていただきますので、たくさんのご出席をお待ちしております。

なお、お帰り際には、ぜひ、職員室前の落とし物コーナーもご確認いただき、もしお子さんのものがありましたらお持ち帰りをお願いいたします。ゴーグルだけでも6個届いています。持ち主に帰らないとなると、ほぼ処分するしかありませんので・・・

